



住民参画を基本とした「共創」と「協働」のまちづくり ●住民参画

より良き美馬市を実現するために、「共創と協働のまちづくり」、「市民参画のまちづくり」と言うけれど、分かりやすく言えばどういうことなのだろうか。ほくたちは、美馬市民として、どういう心構えで、どういうアクションを起こせばいいのだろうか。美馬市役所を訪ねてみました。

Q「共創と協働のまちづくり」、「市民参画のまちづくり」とよく聞きますが、具体的にはどういうことが教えてください。

A 美馬市のまちづくりの基本は「共創



総合計画策定審議会

と協働のまちづくり」です。分かりやすく言えば、行政と市民が共に力を合わせて共に創り上げる美馬市のまちづくり。また、協働というのは力を合わせて働く、汗を流すということです。

今は地方の時代と言われています。地方が自主的に考え、行動を起こすことが求められています。

しかし、たいいてい地方は財政難。財源を押さえ、なおかつ市を活性化するためには、行政もがんばらなければいけません。行政もがんばらなければいけません。市民のみならずにも知恵や力を出していただき、共に創り上げる必要があります。

そのためには、市が何もかも抱え込むのではなく、情報を公開し、市民のみならずにもまちづくりに参画、つまり参加してもらわなければいけません。

Q 参画するためには、どういうことをすれば良いのでしょうか？

A もちろん、どんなことでも力や声を出して欲しいと思っています。例えば、自主防災組織の結成や取り組みにも積極的に参加していただきたいと思っています。また、「美馬市行政改革推進員会」、「地域審議会」など、各会にも市民の皆様にご協力をいただいております。教育や環境、少子高齢化など、さまざまな問



交通安全教室

題に意見や提案、そして行動をいただければと思っております。活力ある明日の美馬市づくりには、「人づくり」が大切なのです。

「特派員コメント」

がんばる行政と、いきいきとした市民の「共創」と「協働」。ひとり一人の力が集まって、大きな市民パワーになり、住みよい美馬市を創って行くことが分かりました。まずは、心も体も元気に育て、立派な市民になることが大切だね。

そうして、ふるさとの力になる。まちづくりに、アイデアや意見を出せる人、そして実行力がある人を目指そう。ふるさとの大切さを、僕らも考えてみよう。

Column <コラム>

近畿美馬市ふるさと会



会長 井上 章さん

美馬市では、平成18年11月に近畿地方在住の美馬市出身者とその家族、また賛同者を対象に、「近畿美馬市ふるさと会」を設立しました。入会された方には、会員証を発行し、「広報みま」を送付します。市内各種施設の割引や、ふるさと美馬市の特産品の情報をお届けします。

[問い合わせ]

美馬市役所
ふるさと会事務局
tel.0883-52-8009

